

# 長野市公文書館便り

●発行日：平成30年(2018年)7月2日 ●発行：長野市公文書館



## 庶民が苗字(名字)を許される!



庶民が政府から苗字の使用を許されたのは、明治3年(1870)9月19日のことです。江戸時代も半ば以降になると、多くの農民も苗字を用いるようになっていきました。しかし、あくまでもそれは私的なもので、公的文書に使用することは許されていませんでした。

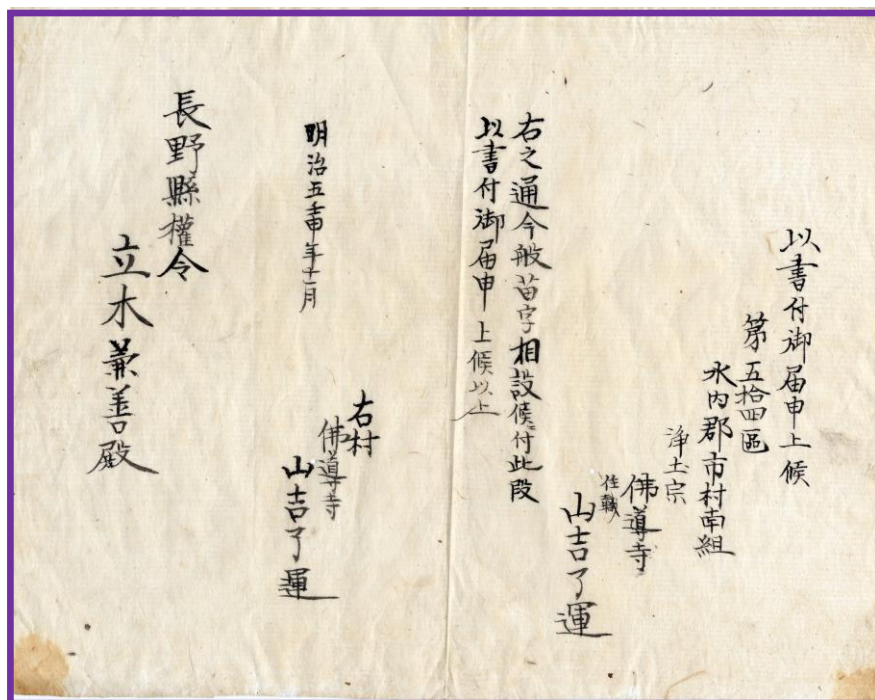
明治維新により四民平等の方針が出され、庶民も苗字を使うことが出来るようになりました。明治4年4月、戸籍法が制定され翌年2月に施行されました(壬申戸籍)。戸籍法では、「何之誰」と苗字と名を登録記載する書式が示され、姓氏・氏名というときの姓・氏にあたる苗字の原則が示されました。

江戸時代の宗門人別帳などは、身分ごとにまとめる方式でしたが、この壬申戸籍は人民一般を住居の地で把握する、地域別方式を採用していました。全国的統一戸籍の編製により、国家が全国人民を直接掌握することが可能になり、近代的国家の統治の基盤をつくり出した点で大きな歴史的意義をもっていました。

写真は明治5年11月、水内郡市村南組(現長野市)の仏導寺住職が、「今般苗字相設候二付」として、長野県へ苗字を届け出た文書です。戸籍登録が進む中で届け出たも

のと考えられますが、このような史料はあまり目にすることがなく貴重なものといえます。

ところで、戸籍記載するようになった庶民の苗字は、使いたがらない者もいたようです。政府は明治8年2月、必ず姓を称し不詳の者は新たに付けるように布告しています。民衆を戸籍の面から掌握することも、すぐには徹底しない部分もあったのです。現在では、苗字(姓)はイエを表すものではなく、個人に属する名称として機能しています。



### 長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)  
 電話 026-232-8050 FAX 026-232-8051  
 HP <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>  
 又は [www.city.nagano.lg.jp](http://www.city.nagano.lg.jp) で検索  
 E-mail [shomu-9@city.nagano.lg.jp](mailto:shomu-9@city.nagano.lg.jp)  
 開館時間 午前9時から午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)  
 休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日  
 年未年始(12月29日~1月3日)





【公開資料】

- ・「内田慶子文書」(古文書 13 点)・「吉田藍子文書」(古文書 10 点)・「宮澤成治文書」(古文書 28 点)
- ・「糺屋文書」(古文書 25 点)・「小林竜太文書 2」(古文書 130 点)・図書目録を更新しました。

【活動記録】

- ・5/15 長野市非現用文書(平成29年度)41箱移管
- ・5/18 須坂市公文書館視察2人
- ・5/25 坂城町から見学ツアー17人
- ・6/5 小田切自治協見学ツアー5人、INC 見学取材
- ・6/8 全国公文書館館長会議出席
- ・6/8 長水退職校長会講演
- ・6/14.15 全史料協総会出席
- ・6/21 安茂里公民館出張講座
- ・6/21 長野県史料協総会出席



INCTV 取材の様子!

デザインもサイズも一新!



『市誌研究ながの  
-ふるさとのアーカイブ-』  
25号好評発売中!

今号は、信濃における古代陶碗の変遷や中世の善光寺地頭・長沼宗政の動向、善光寺納骨堂建立に携わった建築史家や建築家等に関する論文・研究レポートなどを掲載しています。  
◆B5判・196頁、頒布価格 1,500円(税込)



図書紹介

今回紹介する図書は、大正14年(1925)に発行された『明治奇聞 一』(宮武外骨/著、210.6-円)です。この本は、明治時代の新聞や雑誌から収集した珍妙な記事を愉かに、そして少し皮肉も交えて紹介しているものです。

“明治五年には十二月なし”の章では、明治5年11月9日の太政官布告により翌月12月3日から太陽暦を用いて新年にするというお達しの後、さらに11月23日に、12月1、2日を11月に追加して12月をなくせという布令がでたと紹介しています。結局実現しませんでした。そうすることで12月分の給料を支払わずに済むからと揶揄しています。実際明治6年は太陰・太陽暦(旧暦)ではうるう年で13ヵ月だったところ急きよ太陽暦(新暦)にして12ヵ月になり、12月2日分の給料もなかったようで、結果2ヵ月分の給料を支払わずに済んだそうです。

“女異人と結婚の日本人”の章では、日本で初めて西洋式の結婚式を挙げた人物の名前や日付を紹介した明治時代の世を風刺しています。近代化が進んだ大正時代が明治時代を笑っているようです。平成が昭和を「古〜い」というのとどこか似てますね。

# 夏休み特別企画

小学校4.5.6年生対象  
(保護者同伴)

「公文書館こども見学ツアー」  
-長野市の歴史に触れて、触って！  
修復作業の体験もあります！-

- ・日時 7月29日(日)/8月5日(日)  
(申込みはどちらかへ)  
午前10時~12時
- ・申込方法 7月10日(火)~23日(月)午前9時~午後5時  
電話または当館窓口にて(土曜、祝日休館)
- ・定員 両日とも保護者含め先着20人

お問合わせはTel.026-232-8050(長野市公文書館) ☆詳しくは「広報ながの」7月号をご覧ください